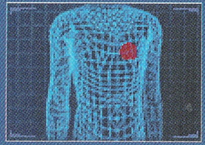
STORY 6-5



手術No34

# 原罪・四

患者 ツミビト4

TIME LIMIT 05:00:00

トリーティの駆逐を行なうこと。テクニックではなく、集中力がすべての手術となる。処置方法はこれまでのトリーティと同様に、個々の色に対応した血清抗体を5回投与することで死滅させられる。しかし、弱体化するにつれ動きが速くなり、投与可能な時間も短くなることを心してかかること。

## 1 憩室の色に対応した血清を投与

## 2 メスで憩室を切開

## 3 ピンセットで憩室を除去

## 4 ピンセットで人工膜を切除痕に移植

## 5 ヒールゼリーと手で人工膜を定着させる

1〜5までがトリーティ駆逐の第一段階。このあとトリーティが3体出現するので、バイタルを99まで上げてから最後の人工膜の定着を行なうこと。

## 6 トリーティの固体色と同じ色の血清を打つ

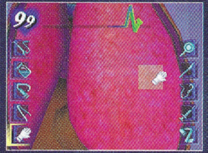
これまでのトリーティと処置の方法は同じ。どのトリーティが何色かを記憶し、3体が同色になったら固体色と同色の血清を打っていこう。色と違う血清を投与し、憩室ができてしまったら、トリーティへの血清投与よりも優先して1〜4までの処置をしておくこと。各個体に5回ずつ血清を打てば6は終了となる。




1
憩室の配置は下に緑、右に紫、上に黄色と写真のとおり。色がついて膨れ上がるまえに、血清を投与。




1、2
切開マーカーがでている時間は短い。ひとつの憩室に血清を打ったらすぐに切開していこう。




5
人工膜をひとつだけ定着させずに回復剤を投与。バイタルを99まで上げてから最後の定着を行なう。




6a
トリーティが潜伏したら、まず回復。その後血清を注入した状態で、血清と同色のトリーティを追う。



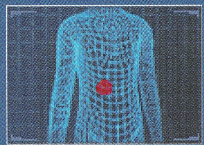

6b
3体が同色になったら血清を即投与。投与の順番はあらかじめ決めておき、手を慣れさせるといい。




6c
間違った血清を打つとこれまで同様憩室が発生してしまう。記憶が危ういときは手をださないこと。



STORY 6-6



手術No35

# 原罪・伍

患者 ツミビト5

TIME LIMIT 05:00:00

ペンプティの駆逐を行なう。ペーストの下のモヤにナノマシンを2回投与して核をあぶりだし、いったん焼却する。その後新たな核が発生するので7回OK!がでるまでレーザー照射を続けること。ただし、核は小核を作る、小核は裂傷やデキモノを生む。小核の焼却をしつつ核に照射していかなければならない。

## 1 注射器でナノマシンをモヤに投与

## 2 レーザーで核を照射

## 3 レーザーで核を照射しながら、小核焼却の準備

核に照射を続けていくと、核から小核が排出される。小核排出後は小核の焼却を優先して行なうこと。小核の発生は、最初の4回は以下で紹介する小核のタイプ、4、5、6、5の順に発生し、これ以降はランダムで発生する。また、5に入った時点でようやく核への攻撃が有効となり、ここから7回OK!がでるまで小核を焼却しながら、核への照射を続けることになる。

## 4 小核タイプ1を焼却

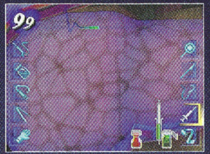
核からひとつずつ排出される5個の小核を焼却していく。この小核を放置すると表皮に裂傷を作られてしまうが、裂傷はひとまずムシし、小核の焼却を優先すること。

## 5 小核タイプ2を焼却

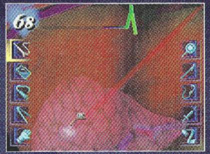
5個の小核が一度に排出される。ペーストの拡大縮小中は小核を焼却することはできない。表皮に発生したデキモノを焼却しながら縮小を待ち、縮小しきったところで小核の焼却を行なおう。

## 6 小核タイプ3を焼却

核を中心に小核が円を描くように動く。小核排出時にレーザーを核に当てたままで焼却できるが、逃してしまった場合は、小核の軌道上にレーザーを当て続けることで焼却できる。




1
画面全体にペーストが映しだされるため、回復剤を打てる範囲は狭い。打つときは皮膚へ打つこと。




3
核に照射を続けると、小核を焼却時のようにOK!とでる。このOK!を7回見ればクリアだ。




4a
小核を逃したあと、その小核に照射しても間に合わない。つぎに出現する小核の焼却をしよう。




4b
裂傷を作られても、縫合ではなく小核の焼却が優先。5個の小核を焼却後に縫合、回復をすること。




4c
裂傷縫合の際は、画面の上から下へ向かってではなく、下から上に縫い上げるようにしよう。




5
タイプ2で小核を焼却できるのは写真の状態のときのみ。拡大縮小中はデキモノの処置や回復を。